山頂で伝統的な井戸を掘ることは困難で、下から水を運搬するのは非効率的であった（包囲の間は不可能）ので、そのため貯水槽は岩をくりぬいて雨水を貯めた。 城が攻撃を受けた場合、飲料水の予備的な貯蔵は、城内の味方が長期的包囲でも生き残れることを可能にした。